



YOSANO TOWN

## 平成 28 年度当初予算の概要

みんなの知恵と技術で、新しい価値を生むまちづくりの推進

広報よさの特別号

## ■ 目次

- ▶ はじめに
- ▶ 平成 28 年度について
- ▶ 平成 28 年度予算の全体像
- ▶ 平成 28 年度予算のポイント
- ▶ 平成 28 年度主要施策
- ▶ 資料編
  - ・ 町税の状況
  - ・ 町税の前年度比較
  - ・ 町債の状況（一般会計）
  - ・ 基金の状況（財政調整基金・減債基金）
  - ・ 基金の活用（財政調整基金）
  - ・ 普通建設事業の状況（一般会計）
  - ・ 与謝野町の財政状況
- ▶ 行財政改革の取り組み

### ▶ 28 年度予算編成にあたって

町が毎年作成している予算書は、地方自治法に定められた体系に沿ってつくられていますが、事業名と金額しか書かれていません。また難しい行政用語が多く、町民の皆さんから分かりにくいとお声をいただいていた。そこで、その年の予算の使い道や事業などをできるだけわかりやすくまとめた予算事業説明書として一冊にまとめました。町の施策の基本である「平成 28 年度予算編成」の体系に合わせて構成し、平成 28 年度に実施する個々の事業について説明をしています。

## ■はじめに

今こそ新しい与謝野を築く。

—昨年春以降、この想いを胸に刻み、町政運営に邁進してきました。平成28年度のスタートを切るにあたり、与謝野町の未来を切り拓くために全身全霊を賭けて取り組むことを固く決意します。

平成27年度においては、まちの将来像である「水・緑・空 笑顔かがやくふれあいのまち」の実現をめざして、「みんなの知恵と技術で、新しい価値を生むまちづくり」を進めてきました。その結果、与謝野町民、本町を想う人たちの覚悟と努力により、多くのうねりが生まれています。

平成28年度においても、昨年度に掲げた方針を不退転の決意で押し進めていきます。そして、第1次与謝野町総合計画や行政改革大綱などの各種計画を推進することを基本としつつ、私が訴えてきた6つの政策と与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略の実現に重点を置き、全庁体制で町政運営を行うこととします。

そのことにより、昨年度に生み出したうねりをさらに大きなうねりにするべく、住民一人ひとりの挑戦を支えていく年にしていきたいと考えています。

私たちの愛する与謝野町を、全町民が一丸となり、より素敵なまちとして発展させ、次の世代に届けていきたいと思います。私たちなら、それができます。

与謝野町長 山添 藤真

## ■平成28年度について

# 平成28年度は 行動、実行、挑戦の一年に。

平成26年度

持続可能なまちづくりを進めるために、可能性を模索してきた年。



平成27年度

可能性をつなぎ合わせ、躍動する年、うねり（GROOVE）を生み出す年。



平成28年度

生み出したうねりをさらに大きなうねりにするべく、  
行動を起こす年。

## 合言葉は "TAKE ACTION"



# 平成 28 年度予算の全体像

## ▶ 予算規模（一般会計）

一般会計予算 134 億 1 千万円 対前年度：9.0%増



## ▶ 予算規模（一般会計・水道事業会計含む）

予算総額 224 億 4,266 万円 合併後最大の当初予算規模 対前年度：5.7%増（12 億 1,408 万円増）

会計別	28年度当初 (単位：万円)	27年度当初 (単位：万円)	増減率 (%)
一般会計	1,341,000	1,230,000	9.0
簡易水道特別会計	54,825	65,400	▲ 16.2
宅地造成事業特別会計	10,403	10,961	▲ 5.1
下水道特別会計	161,767	164,980	▲ 1.9
農業集落排水特別会計	3,984	3,920	1.6
介護保険特別会計	275,250	270,150	1.9
土地取得特別会計	37	36	5.1
国民健康保険特別会計	337,140	317,850	6.1
後期高齢者医療特別会計	27,420	27,990	▲ 2.0
財産区特別会計	9,100	8,330	9.2
水道事業会計	23,340	23,241	0.4

※国民健康保険特別会計は28年度税率改定を実施（1世帯平均10,500円の増）

## ▶ 予算規模（歳入歳出の主な増加事業）

### 一般会計（歳出）

単位：万円

歳出（事業名）	28年度当初	要因	27年度当初 差額
認定こども園施設整備事業	73,289	かえでこども園新築工事の実施（工事費：69,900、監理委託：1,686）、備品購入費等の増	68,346
中学校施設整備事業	141,557	27年度は屋内体育施設建設、28年度は校舎棟建設工事の本格化に伴う増（工事費：135,776、設計・監理委託：2,676）	37,945
宮津与謝環境組合負担金	26,289	新清掃工場新築工事（宅地造成工事、施設整備工事費）の増（与謝野町負担分）	24,207
消防施設等整備事業	13,244	加悦第3分団車庫詰所の新築工事（工事費：11,395、監理委託：224）の増	7,192
農業用施設整備事業	6,032	多田谷川改修工事の増	5,840

### 一般会計（歳入）

単位：万円

歳入（収入科目）	28年度当初	要因	27年度当初 差額
町債	270,220	かえでこども園新築工事、加悦中学校改築工事など建設事業費の増加に伴う、町債借入額の増	98,410
国庫支出金	109,524	公立学校施設整備費補助金（加悦中学校・かえでこども園）の増、臨時福祉給付金の増	14,289
地方消費税交付金	42,350	消費税増税（5%→8%）の影響による増。	4,194

## ❓ 一般会計とは？

皆さんに納めていただいた町税や国から配分される地方交付税などによって福祉や教育、議会などといった基本的行政の仕事を行う会計区分です。

## ❓ 特別会計とは？

国民健康保険や介護保険、下水道など、特定の収入によって、一般会計と切り離して事業を行う予算の区分です。与謝野町では、簡易水道、宅地造成、下水道農業集落排水、介護保険、土地取得、国民健康保険、後期高齢者医療、財産区の9つの事業を特別会計で行っています。

## ❓ 企業会計とは？

独立採算制を原則とする企業的色彩の強い事業を行う予算の区分です。与謝野町では水道事業を企業会計で行っています。

## ❓ 歳出とは？ 歳入とは？

一般会計年度における国または地方公共団体の一切の収入を歳入といい、一切の支出を歳出といいます。

# 平成 28 年度予算のポイント

## ▶ 27 年度 3 月補正予算と一体の「13 か月予算」

平成 28 年度予算は、27 年度 3 月補正予算と一体の「13 か月予算」とし、切れ目のない予算となるよう予算編成を実施。

「与謝野町ひと・しごと・まち総合戦略」を踏まえた施策の実施については、27 年度補正予算：「地方創生加速化交付金」（100%国庫財源）、28 年度当初予算「地方創生推進交付金」（50%国庫財源、5 年間）を積極的に活用。

## ▶ 地方創生加速化交付金（27 年度補正）

- 《単独事業》
- ・与謝野ブランド戦略事業（クリエイターと起業家による魅力あるものづくり・まちづくり創造事業）
  - ・与謝野町農業モデル確立事業（与謝野版農業モデルによる農産物ブランド事業）
- 《連携事業》
- ・京都北部地域連携都市移住・定住プロジェクト
  - ・海の京都DMO広域観光推進事業

## ▶ 「13 か月予算」の予算総額 【136 億 4,538 万円】

平成 27 年度 3 月補正予算 【2 億 3,538 万円】

- ①与謝野ブランド戦略事業
- ②与謝野町農業モデル確立事業
- ③京都北部地域連携都市移住・定住プロジェクト
- ④海の京都DMO広域観光推進事業
- ⑤電算システム管理運営事業
- ⑥道路維持補修事業
- ⑦年金生活者等支援臨時給付金事業

平成 28 年度当初予算 【134 億 1,000 万円】

## ▶ 地方創生推進交付金（28 年度）

- ・与謝野ブランド戦略事業（養蚕・桑栽培事業、ブランドプロデュース業務）

## ▶ 28 年度主要政策（6 つの政策）

### 主要政策

### 28 年度予算も、引き続き「6 つの政策」を重点に実施

【与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略の 4 つの基本目標にも沿った事業を展開】

- 重点** ①新しい視点での産業振興策 …… 95,119 千円
- ②観光振興、交流人口の促進 …… 32,970 千円
- ③地域密着型の福祉政策 …… 20,464 千円
- 重点** ④新たな視点での子ども子育て支援策 …… 7,711 千円
- 重点** ⑤未来を見据えた教育施策 …… 811,449 千円
- ⑥徹底した情報の透明化、どなたでも参画できる町政の実現 …… 1,600 千円

### なぜこの 6 つの政策を重要政策とするのか？

日本の多くの地域でみられるように、与謝野町においても、少子・高齢化や基幹産業である織物業や農業の産業人口の減少が進んでいます。

充実した子育て支援、多様性を重視した教育、安定した福祉、攻める織物や農業への転換、生活基盤の整備により、町民の皆さんにとって魅力あるまちづくりを進めていけるよう、この 6 つの政策を重点政策として掲げています。

特に産業振興（織物業・農業分野）については、与謝野ブランド戦略「みえるまち」をコンセプトに一貫通したものづくりを提供できる環境を構築し、小さなまちから世界にインパクトを与えることができる、産業を機軸としたまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

# 平成 28 年度主要政策

## ▶ ①新しい視点での産業振興策

### 与謝野ブランド戦略事業

71,759 千円

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	<p>平成 27 年 12 月に定めた「与謝野ブランド戦略」のコンセプト「みえるまち」に基づき、行政（商工観光課、農林課、企画財政課）と商工会による「与謝野ブランド戦略推進チーム」を設置し、官民一体となって下記事業・プロジェクトを展開します。</p> <p>■マネジメント体制構築 ・与謝野ブランド戦略アドバイザー委託料 8,000 千円（当初）</p> <p>■みえるまちの実現 1) 安心安全がみえる (基幹産業の源流強化と与謝野流エコシステムの確立) ・シルクプロジェクト事業費補助金 22,000 千円（当初） ※「与謝野町農業モデル確立事業」（再掲）</p> <p>2) 個性がみえる (共創による仕組みづくり、仕事づくり、人づくり) ・ものづくりワークショップ事業委託料 3,000 千円（3 月補正） ・起業支援業務委託料 4,000 千円（3 月補正）</p> <p>3) もてなしがみえる (みえるまちを体感・発信する拠点エリアを構築) ・阿蘇ベイエリアプロジェクト補助金 34,000 千円（3 月補正）</p>	41,000	30,759	商工観光課 農林課 企画財政課

### 与謝野町農業モデル確立事業

10,700 千円

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SOFIX（土壌肥沃度指標）による京の豆っこ肥料を活用した農業の推進</li> <li>・SOFIX（土壌肥沃度指標）ブランド認証による農産物の流通体制の構築</li> <li>・水田を利用した新規作物として、ホップの試験栽培、ミディトマト等新規作物の生産振興、及び農業体験・加工品開発等の 6 次産業化</li> <li>・与謝野町版農業モデルのプロモーション 他</li> </ul>	10,700	0	農林課

### 織物振興対策事業（生産基盤支援・織機調整等支援）

12,660 千円

区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	<p>今なお高い技術力を維持している織物業等に係る機械の維持補修など、経費負担に対する助成制度を継続することにより、生産機能の向上や底上げ、新たな商品開発への機運を高め、織物業界の生産低下や後継者不足への対応を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・織物織機調整等支援事業補助金 2,660 千円（当初）</li> <li>・織物業生産基盤支援事業費補助金 10,000 千円（当初）</li> </ul>	0	12,660	商工観光課

▶ ②観光振興、交流人口の促進

移住・定住支援事業（与謝野 I J U 戦略プロジェクト）		10,168千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	<p>地域住民と移住者との交流を促進し、交流人口や定住者の増加を図るため、ワンストップ窓口による移住相談体制を強化するとともに、地域に根付いた手仕事やライフスタイルを体感できる短期滞在型プログラムの実施、移住相談・交流施設の拠点化を図ることで、移住推進体制を整備する。</p> <p>また、京都府北部5市2町共同事業として、クリエイティブ・ディレクターを活用しながら、移住先としての地域ブランディング確立に取り組むとともに、空き家、企業情報等を一括で検索・発信できるシステムや機会の提供、圏域で実現可能なライフスタイルに対応する体験事業の実施、移住者等の受け入れに向けた地元リーダーの育成を図る。</p>	2,150	8,018	企画財政課

海の京都広域連携・地域づくり事業		20,102千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続 新規	<p>&lt;海の京都広域連携&gt; 5市2町が連携して観光振興に取り組む「海の京都事業」において、広域連携や着地型旅行商品の造成、インバウンド対応など、課題が山積している。こうした課題を解決し、海の京都事業をさらに加速化させるため、北部5市2町、観光協会の地域連携を更に強固とするDMO組織「海の京都振興会社（仮称）」を設立し、本圏域の観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に実施・推進する。</p> <p>・海の京都DMO広域観光推進事業負担金 9,536千円（3月補正）</p> <p>&lt;観光地域づくり事業&gt; 海の京都観光圏事業で進めている地域づくりを継続して展開し、滞在型交流の仕組みを構築する。また、地域づくりのコーディネート、観光協会組織の全体統括、滞在プログラムの企画立案、外部との連携調整、インバウンド事業などを中心的に担える人材を引続き登用する。</p> <p>・海の京都観光地域づくり支援業務負担金 3,240千円（当初） ・観光地域づくり組織支援事業補助金 7,326千円（当初）</p>	9,536	10,566	商工観光課

全国椿サミット与謝野大会の開催		2,700千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	<p>本町の椿をはじめとする地域資源の魅力発信、観光振興に寄与することを目的として、平成27年2月に実行委員会を設立し、大会開催に係る企画・準備を進めてきた。平成28年度において、4月9日から10日にかけて、全国からの椿愛好家等が集う「第26回全国椿サミット与謝野大会」を開催する。本大会では、地域と協働し、与謝野らしさを体感いただく内容として開催することとし、以後においても恒久的な地域滞在型交流の仕組みづくりとして、地域資源の魅力活用による来訪者へのおもてなしの充実を図る。</p> <p>・全国椿サミット実行委員会補助金 2,700千円（当初）</p>	0	2,700	商工観光課

▶ ③地域密着型の福祉政策

地域福祉計画策定事業		3,227千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	<p>地域の課題や福祉ニーズに応え、地域や家族が本来持っていた自助・共助の役割分担により、住民参加の地域福祉体制の構築をめざし、住民相互の信頼と支え合いによる地域福祉社会実現の指針となる新たな計画策定を実施。</p> <p>（27・28年度の2カ年事業）</p>	0	3,227	福祉課

喀痰吸引等研修事業		480千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	<p>町内福祉事業所に勤務する介護職員が看護師に代わって痰の吸引等の医療的処置が行えるよう研修に参加した場合の研修費用の助成（1/2）を実施。</p>	0	480	福祉課

地域医療確保奨学金貸付事業		7,610千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	<p>■与謝野町内にある医療法に規定する公的医療機関において医師として将来従事しようとする医学生、臨床（専門）研修医等を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【月額15～20万円を上限とし貸与（返還免除規定有り）】</p> <p>■京都府立医科大学附属北部医療センターにおいて、将来「助産師または看護師」として勤務希望する看護学生を対象に、奨学金制度を1市2町連携事業で実施。</p> <p>【年額100万円を上限とし貸与（返還免除規定有り）】</p>	0	7,610	保健課

■介護保険特別会計

介護予防地域交流活性化事業		1,080千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	<p>地域の空き家等を利用して高齢者サロン等を運営するボランティア（団体）やNPO法人等に対して、家賃、光熱水費等の経費に対して助成するもの。</p>	0	1,080	福祉課

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）家賃等助成金制度		8,067千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	<p>同じ入所型施設でありながら特別養護老人ホームに比べて利用者負担が高くなっている認知症対応型生活介護施設（グループホーム）に家賃、食費に対して助成するもの。</p>	0	8,067	福祉課

▶ ④新たな視点での子ども子育て支援策

生活困窮家庭自立支援事業		420千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	生活困難・困窮家庭の児童に対して学習支援及び学習環境を整えるための生活支援を週2時間程度、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」に委託し、訪問型事業として実施する。	0	420	福祉課

児童・家庭相談事業		6,377千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	教育委員会・福祉課それぞれで実施してきた教育相談事業と児童相談事業を、子育て応援課の相談事業として一本化し、多様化する相談内容に対応するため、相談員や相談日の拡充を図り、育児・養育相談やカウンセリング、プレイセラピー等を実施する。	0	6,377	子育て応援課

養育困難家庭自立支援事業		408千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	子どもの養育が困難な家庭が増加しており、それらの家庭は複数の困難な事情を抱えている方が多く、一人ひとりに寄り添った支援が必要であるため、NPO法人「宮津・与謝子育て・教育ネットワーク」への委託により家庭訪問等による生活・学習支援を実施する。	0	408	子育て応援課

放課後学習支援事業		506千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
拡充	さまざまな理由により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない児童への学習支援として、長期休業（夏休み等）中を除き、放課後に週1回1時間程度の補習を実施する。 平成27年度は、10月から12月の間に5小学校で試験的に実施したものを28年度より全小学校で実施する。	0	506	社会教育課

▶ ⑤未来を見据えた教育施策

アベリスツイス交流事業		3,285千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	アベリスツイスへの高校生派遣交流（12回目）、アベリスツイス大学との連携事業としてフランクエバンス奨学金による留学の斡旋、サマースクール留学及び産業視察・文化交流のための大学生受け入れ事業を実施。	0	3,285	企画財政課

ヨサノ大学（仮称）事業		4,000千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	「与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人材の育成」を目的とした町民のためのヨサノ大学（仮称）の開校を目指し制度設計を行うとともに、趣旨を踏まえたプログラムの先行試行及び一般教養講座から政策提言を行うリベラルアーツ事業（2年目）を実施する。	0	4,000	企画財政課 社会教育課

認定こども園管理運営事業		71,270千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
新規	町立の岩滝幼稚園・岩滝保育所を再編、岩滝保育所の園舎を活用して、保護者の就労の有無に関わらず、すべての子どもが質の高い幼児教育・保育を受けられる新たな施設として、幼保連携型認定こども園「かえでこども園」を管理運営する。	0	71,270	子育て応援課

認定こども園施設整備事業		732,894千円		
区分	事業概要	3月補正	当初	担当課
継続	園舎の老朽化に伴い耐震対策が必要な岩滝幼稚園を解体し、町立の幼保連携型認定こども園「かえでこども園」の新園舎を建設する。	0	732,894	子育て応援課



かえでこども園イメージパース

▶ ⑥徹底した情報の透明化、どなたでも参画できる町政の実現

合併 10 周年記念事業		1,600 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
新規	合併 10 周年を記念し、地域間交流の促進や住民の更なる一体感の醸成を図るため、各地区に伝わる伝統芸能の披露を通じた住民交流を実現し、地域の宝や魅力、伝統行事等に対する歴史的価値を再認識する機会として「与謝野町郷土芸能祭」を開催する。 <開催：平成 28 年中に開催を予定>	0	1,600	企画財政課

広聴事業（町政懇談会・高校生との対話授業・どこでも町長室）		0 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
継続	合併当初からの取り組みである町政懇談会・高校生との対話授業を平成 28 年度も継続して実施。 町政懇談会では、住民の皆さんから多くの意見をお聞きし、まちづくりを進めるための基礎とし、また、対話授業では、将来を担う高校生の斬新な考えやまちづくりに対する思いを、町政運営に生かすことを目的に実施。（加悦谷高等学校、宮津高等学校） また、どこでも町長室を平成 27 年度から開催。どなたでも気軽に参加していただけるよう、ランチミーティング形式とし、住民のきいたんのない意見を聞く場としている。	0	0	企画財政課

▶ その他政策的事業

与謝野町公共施設等総合管理計画策定事業		570 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
継続 新規	平成 28 年 1 月 29 日に、山添町長から行政改革推進委員会へ、「与謝野町公共施設等総合管理計画の策定」を諮問。行政改革推進委員会では、「与謝野町公共施設等総合管理計画管理計画（基本計画・実施計画）」を平成 28 年度中の策定に向け協議を実施。 また、行政改革推進委員会とは別組織で、役場庁舎の今後のあり方について協議を行う「庁舎統合検討委員会」を平成 28 年中に立ち上げ、協議を再開する。	0	570	企画財政課

ごみ減量化取組強化期間		450 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
拡充	平成 28 年度を「ごみ減量化取組強化期間」として、特に可燃ごみを平成 26 年度比で 4 割削減する目標を立てて、ごみの減量化を推進。このごみ減量化対策の具体的な取組として、電気式生ごみ処理容器の普及のため、減量化取組強化期間となる平成 28 年度に限って、電気式生ごみ処理容器の補助限度額を現在の 10,000 円から 15,000 円に引き上げて普及を図る。	0	450	住民環境課

骨髄ドナー助成事業		140 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
新規	骨髄移植を必要とする患者を一人でも多く救うために、骨髄提供者の経済的な負担を軽減することで、骨髄移植の推進を図ることを目的に実施。【入院期間 1 週間、日額 2 万円を上限として助成】	0	140	保健課

「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来へつなぐ条例」 「与謝野町の環境みらい 2017」シンポジウムの開催		2,931 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
新規	「阿蘇海環境づくり協働会議」が、阿蘇海流域の将来あるべき姿や目標、取組の基本方針等を示した「阿蘇海流域ビジョン」を平成 27 年 3 月に策定され、このビジョンに掲げられた取組を一層推進するために、関係のある宮津市及び京都府と協議の上、同内容の条例を平成 28 年 3 月議会に提案。 この条例制定に合わせ、町内で先進的な環境活動を行う団体にスポットを当てた体験型の「地域を知る環境学習ツアー」のほか、「与謝野町の環境みらい 2017」としてシンポジウムを開催し、住民の環境意識の更なる向上と活動実践者を増やす取組を展開する。	0	2,931	住民環境課

豊かな森育成事業		3,384 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
新規	「京都府豊かな森を育てる府民税」を財源として、森林の多面的機能を維持し増進する事業を行う。 ・京都×キャンプとの共同による森林体験学習の実施、森林資源の循環利用と森林の多様な重要性についての調査・研究 ・財産区等が行う森林整備事業等に対する助成	0	3,384	農林課

有害鳥獣防除フェンスの維持管理に対する支援		2,880 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
拡充	地域が主体となって行っている有害鳥獣防除フェンスの点検・補修にかかる経費（労務・資材）に対して補助金を交付することにより、地域の負担軽減と農作物・生活環境への被害防止を図る。	0	2,880	農林課

加悦第 3 分団車庫詰所の新設		116,335 千円		
区分	事業概要	3月補正	当 初	担当課
新規	町民の生命と財産を守る、崇高な使命のもと昼夜を問わず活動する消防団の活動拠点施設として加悦第 3 分団車庫詰所を新設する。	0	116,335	防災安全課

# 資料編

## ▶ 町税の状況

町税総額 17億9,117万円

対前年度：1,891万円増 (+ 1.1%)

税目	28年度予算 (単位：万円)	27年度予算 (単位：万円)	増減率 (%)
町民税	78,740	78,886	▲ 0.2
固定資産税	81,276	78,659	3.3
軽自動車税	6,260	6,060	3.3
町たばこ税	12,840	13,620	▲ 5.7



## ▶ 町税前年度比較

### ● 町民税

町民税内訳		28年度予算 (単位：万円)	27年度予算 (単位：万円)	増減率 (%)
個人	所得割	67,000	65,600	2.1
	均等割	3,400	3,500	▲ 2.9
	滞納繰越分	1,200	1,300	▲ 7.7
法人	法人税割	2,500	3,850	▲ 35.1
	法人均等割	4,600	4,590	0.2
	滞納繰越分	40	46	▲ 12.9

### ● 固定資産税

固定資産税内訳		28年度予算 (単位：万円)	27年度予算 (単位：万円)	増減率 (%)
土地		28,394	28,592	▲ 0.7
家屋		38,815	37,037	4.8
償却資産		11,429	10,465	9.2
滞納繰越分		1,274	1,198	6.3

## ▶ 町債の状況 (一般会計)

平成 28 年度末町債現在高見込み  
147億2,361万円

対前年度：11億7,064万円増 (8.60%)

### 町債残高推移

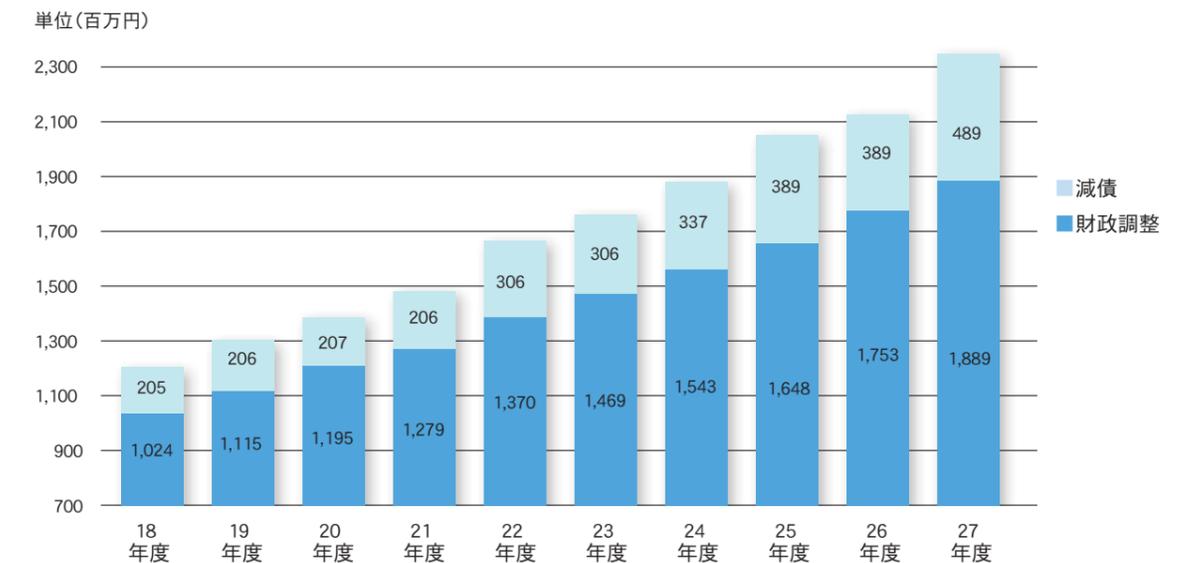


## ▶ 基金の状況 (財政調整基金・減債基金)

平成 27 年度末基金現在高見込み

財政調整基金：18億8,939万円 (対前年度：1億3,638万円増 (7.8%))

減債基金：4億8,894万円 (対前年度：1億18万円増 (25.8%))



▶ 基金の活用（財政調整基金）

## 当初予算において「財政調整基金」を過去最大の4億7,900万円を取り崩し

対前年度：3.0%増（1,400万円増）

財政調整基金は、当初予算編成時には不確定な財源もあるため財源補てんとしている。決算時には取崩し額「0」を目指す。

当初予算時の財政調整基金取り崩し額推移

単位（百万円）

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
財政調整基金	0	200	100	80	0	45	200	420	365	465

※ 18～27年度決算時におきましては、財政調整基金の取り崩しはありません。

▶ 普通建設事業の状況（一般会計）

## 平成28年度普通建設事業見込み

### 27億7,082万円

27年度当初予算比較  
10億2,529万円増（+58.7%）

平成28年度実施予定の主な普通建設事業

単位（万円）

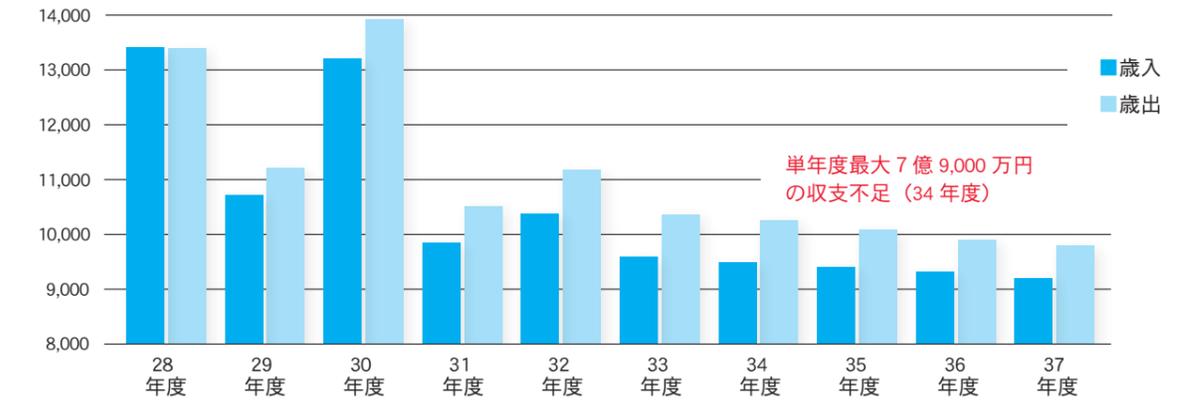
事業名	事業費	主な内容	担当課
中学校施設整備事業	138,494	加悦中学校改築工事（工事費：135,776、設計・監理委託：2,676）26・27・28年度の3か年事業	学校教育課
認定こども園施設整備事業	71,632	かえでこども園（岩滝）施設整備（工事費：69,900、監理委託：1,686）	子育て応援課
消防施設等整備事業	13,179	加悦第3分団消防車庫詰所造成・新築工事（造成工事：5,000、新築工事：6,395、監理委託：224）	防災安全課
道路維持補修事業	12,971	大浜2号支線（阿蘇橋）橋りょう長寿命化工事	建設課
道路新設改良事業	12,040	野田川本線、四辻岩屋線側溝工事	建設課
河川改修事業	8,400	浸水対策（石川地区鞭谷川バイパス水路）	建設課
農業用施設整備事業	6,000	多田谷川改修工事	農林課
町営住宅維持管理事業	3,345	安良（やすら）団地改善工事	建設課
一般廃棄物処理委託事業	2,900	宮津市清掃工場工事費分担金	住民環境課

▶ 与謝野町の財政状況（平成28年3月作成）

今後10年間の財政見通し（行政サービスを現状のまま維持した場合）

28年度から合併特例終了に伴う交付税通減が始まる。  
（平成33年度には平成27年度と比較し、約7億円の減少を見込む）

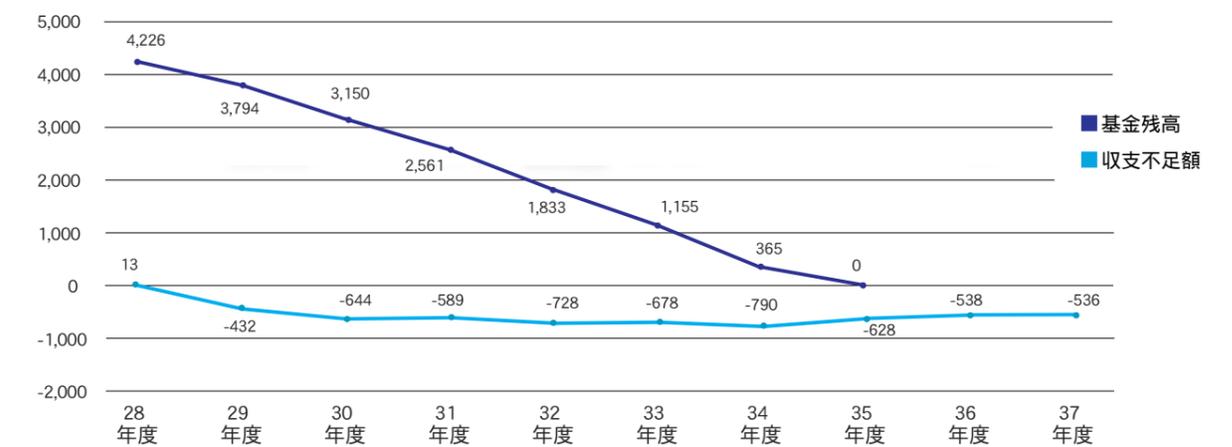
単位（百万円）



- 事務事業の見直しをせず、現状行政サービスを維持した場合、28年度からの普通交付税の通減（28年度で約7,000万円の減を見込む）などの影響により歳入が減少し、歳出超過が続く見込み。
- この収支不足については、合併以降積立ててきた基金で補てんする。

### 収支不足額と基金残高（財政調整基金・減債基金・特定目的金）の推移

単位（百万円）



29年度以降の収支不足を、基金を取崩して補てん。仮に基金に戻せなかったと仮定すると

34年度には基金（財政調整基金・減債基金・特定目的金）が枯渇

**合併以降交付税通減対策として、**  
財政調整基金、減債基金などを積立ててきました。さらなる「制度・事業」の見直し、公共料金等の適正化に向けた取り組みを加速させる必要がある。

**公共料金等の見直し**  
平成28年度は国保税の改定を実施予定。  
平成29年度以降の早期に、上・下水道料金の見直しについて調整を行う。

**公共施設等総合管理計画の策定と早期計画の実施**  
平成27年度は野田川庁舎本館の閉鎖、岩屋保育所、岩屋小学校については他保育所・他校への統合を前倒して実施。  
平成28年度には「与謝野町公共施設等総合管理計画」を策定し、計画的に統廃合など適正化に取り組みほか、庁舎統合検討委員会を設置し、役場庁舎の統合に向けた議論を再開する。

**事務事業の見直し等**  
平成29年度から役場3庁舎直業務の1庁舎への集約化に向けた調整を行い運営経費の節減等の取り組みを進めるほか、「与謝野町資金管理方針」を定め、基金などの資金を使い、債権運用による新たな取り組みを進める。

# 行財政改革の取り組み

## 平成 28 年度当初予算の概要

発行

与謝野町

〒 629-2292

京都府与謝郡与謝野町字岩滝 1798 番地 1

TEL: 0772-43-9000

URL: <http://www.town-yosano.jp/>

編集

企画財政課 TEL: 43-9015